



22日付現地各紙は、第9期国会議員選挙の候補者資格審査結果の最終発表などについて報じた。

1. 選挙当局による候補者資格審査結果の最終発表

(1) キャドホダーイー憲法擁護評議会報道官の発言 (21日)

- ・3,444名の候補者資格が認定され、候補者登録を行った者のうち70%の資格が認定された。
- ・選挙宣伝期間中に法律に違反した者がいれば、憲法擁護評議会は同人の候補者資格を再度検討する。

(2) ナッジャール内務大臣の発言 (21日)

- ・選挙宣伝活動は2月23日午前8時から開始され、7日間にわたり行われる。
- ・今回の選挙では、4,828万8,799人が投票資格を有し、全国で4万7,665カ所の投票所が設置される。

(3) バラートル・テヘラン州選挙対策本部長の発言 (21日)

- ・テヘラン選挙区では、669名の候補者資格が認定された。

2. 著名人物などの資格否認および資格認定に関する現地報道

(1) 著名人物の資格否認

- ・バフマン・シャリーフザーデ（大統領派に近いとされるイスラム法学者）、アッバース・アミーリーファル（大統領派のイスラム法学者。大統領府文化評議会議長。大統領府金曜礼拝導師）が、憲法擁護評議会の最終審査にて資格を否認された。
- ・シャハーベッディーン・サドル（現国会第二副議長。原則主義派団結戦線の候補者リストから外れたことを受け、自ら「イスラム覚醒・明察戦線」を立ち上げていた）とマフムード・アラウィー（現専門家会議メンバー。レザーイー公益評議会議長系の「イラン・イスラム抵抗戦線」の主要候補者）の候補者資格が否認された。
- ・モルタザヴィー全国選挙本部長は、（候補者登録を行っていた）現職議員のうち35名の候補者資格が否認されたと述べた。

(2) 改革派系候補者の資格認定

- ・ガンバリー国会少数派会派報道官（改革派）は、改革派（候補者）のうち70%の候補者資格が認定されたと述べた。